

NPOのチカラ～それはキャリアをつくる

日時：2009年 8月 27日(木)
午後1時30分～4時30分
会場：交流ラウンジ

1999年に特定非営利活動促進法が施行され、全国各地で特定非営利活動法人が誕生し、女性たちが参画する新たな場としてNPO活動が注目を集めている。本事業は、NPO活動に参画している女性たちのキャリア形成に着目し、NPO活動の場がキャリア形成とつながっているのかについて検討した。研究者の調査研究結果からNPOで活動する女性の現状と課題を報告とNPO活動の実践者からの事例報告を受け、研究者を交えてシンポジウムを実施した。

パネリスト／

広岡守穂（中央大学教授） 羽田野慶子（福井大学教員）

石井布紀子（㈲コラボねっと代表）

小森ひとみ（NPO法人くすくす理事）

松下光恵（静岡市女性会館館長）

渋谷典子（NPO法人参画プラネット代表理事）

参加人数／ 48人（女性 45人、男性 3人）

参加費／ 500円



ご意見ご感想をいただきました

- ・ NPO活動の見方が変わりました。興味程度の活動というイメージが強かったけれど、話を聞いてみて生きがいのある活動エネルギーのみなざる活動だと思いました。
- ・ 最近特によく目にする「NPO」という文字。自分が意識しているのかどうかは分からないのですが、働き方、社会参加が、今までにあるものだけではなく違う方向性が有ることを理解できた気がします。
- ・ 対価の発生しにくい働き方をしているNPOは現実たくさんあると思います。活動が（個人の）キャリアをつくるんだけど、（NPO団体として）分析力や発信力、政策力などのさまざまな力をつけることもやっぱり必要なんだと思う。
- ・ 私はNPO法人の有給スタッフをしています。さまざまな話を聞いて、元気になりました。最後のNPOの事務局を育てる力や食べていける力という話は、日常感じている事でした。女性として、NPO職員として自分の人生をゆっくり考えてみたいです。



プランなごや21

目標1 意思決定・政策立案過程への女性の参画
方針1-2 男女共同参画に向けての女性のエンパワーメント
目標4 家庭・地域生活における男女の自立と共同参画
方針4-6 地域における男女共同参画の促進



名古屋市男女平等参画推進センター 指定管理者
NPO法人参画プラネット

